



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月10日

上場取引所 東

上場会社名 岩崎通信機株式会社

コード番号 6704 URL <http://www.iwatsu.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 西戸 徹

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長

(氏名) 西村 隆治

TEL 03-5370-5111

四半期報告書提出予定日 平成29年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	15,006	△3.8	△760	—	△651	—	△2,088	—
28年3月期第3四半期	15,597	△5.7	△1,430	—	△1,307	—	△1,353	—

(注)包括利益 29年3月期第3四半期 △1,876百万円 (—%) 28年3月期第3四半期 △1,320百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	△21.14	—
28年3月期第3四半期	△13.72	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第3四半期	27,453	15,468	56.3	156.60
28年3月期	30,609	17,521	56.6	175.59

(参考)自己資本 29年3月期第3四半期 15,468百万円 28年3月期 17,340百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	1.50	1.50

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,500	△0.5	0	—	200	—	1,300	—	13.16

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 一社 (社名) 、 除外 1社 (社名) 岩通販売株式会社
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期3Q	100,803,447 株	28年3月期	100,803,447 株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	2,028,178 株	28年3月期	2,050,327 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期3Q	98,768,744 株	28年3月期3Q	98,698,620 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定等については、【添付資料】P.2「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」を御覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、新興国を中心とした経済成長の減速、英国のEU離脱問題に加え、米国の大統領選挙の影響などによる為替の乱高下が生じ、経済・金融市場に混乱が広がり、先行きの不透明な状況で推移しました。

こうした状況の中、当社グループでは新中期経営計画「SCRUM 80」の基本方針に則り、成長事業を創設するための実現体制と戦略投資の実行、並びに収益力を強化するための開発の効率化と生産コストダウンの推進に鋭意取り組んでいます。また、当社グループ内の会社統合を伴う組織再編を実施し、グループ内の経営資源を集約し経営の効率化を図ることに努めてきました。

当第3四半期連結累計期間の売上高は、15,006百万円で前年同期に比べ3.8%の減収となりました。利益面では売上高の減少に対して、当社グループをあげて固定費を中心とした費用の圧縮を推進したことにより、営業損失760百万円(前年同期1,430百万円の損失)、経常損失651百万円(前年同期1,307百万円の損失)といずれも前年同期に比べ改善しました。なお、当社グループにおける希望退職の実施に伴い、特別退職金として1,309百万円を特別損失として計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純損失は2,088百万円(前年同期1,353百万円の損失)と前年同期に比べ悪化しました。

セグメントごとの状況を示すと、次のとおりです。

(情報通信事業)

情報通信事業においては、主力の中小企業向け及び特定顧客向けビジネスホンの売上高が減少したことにより、事業全体の売上高は10,977百万円で前年同期に比べ1.3%の減収となりました。セグメント損益は335百万円の利益(前年同期331百万円の損失)となりました。

(印刷システム事業)

印刷システム事業においては、主に消耗品の売上高が減少したことにより、事業全体の売上高は2,069百万円で前年同期に比べ17.2%の減収となりました。セグメント損益は29百万円の利益(前年同期6百万円の利益)となりました。

(電子計測事業)

電子計測事業においては、主にパワーエレクトロニクス関連の売上高は増加しましたが、特定顧客向け及び電子部品関連の売上高が減少したことにより、事業全体の売上高は1,960百万円で前年同期に比べ0.6%の減収となりました。セグメント損益は18百万円の利益(前年同期128百万円の損失)となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の連結業績予想につきましては、平成28年11月11日に公表しました通期の業績予想から変更はありません。

今後も景気動向を注視し、受注の確保と需要の発掘に努めていきます。また、成長分野における新規事業の早期確立及び製造コスト削減と諸経費圧縮等を推進していく所存です。

2. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,064	7,225
受取手形及び売掛金	6,359	4,044
有価証券	—	300
商品及び製品	1,130	1,617
仕掛品	613	678
原材料及び貯蔵品	1,875	1,808
その他	211	167
貸倒引当金	△8	△1
流動資産合計	19,247	15,841
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,820	2,632
その他(純額)	2,463	2,486
有形固定資産合計	5,284	5,119
無形固定資産		
のれん	0	0
ソフトウェア	1,174	1,065
その他	56	51
無形固定資産合計	1,231	1,117
投資その他の資産		
投資有価証券	2,381	3,018
投資不動産(純額)	2,085	2,066
その他	424	327
貸倒引当金	△44	△35
投資その他の資産合計	4,846	5,376
固定資産合計	11,362	11,612
資産合計	30,609	27,453

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,820	1,161
短期借入金	83	108
仮受金	3,627	3,627
未払法人税等	65	34
賞与引当金	597	261
製品保証引当金	177	232
その他	1,256	1,576
流動負債合計	7,629	7,001
固定負債		
長期借入金	5	—
繰延税金負債	854	894
退職給付に係る負債	4,037	3,598
その他	560	491
固定負債合計	5,458	4,983
負債合計	13,087	11,985
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,025	6,025
資本剰余金	6,942	6,948
利益剰余金	4,647	2,559
自己株式	△184	△182
株主資本合計	17,431	15,350
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	155	319
為替換算調整勘定	△109	△73
退職給付に係る調整累計額	△136	△127
その他の包括利益累計額合計	△90	117
非支配株主持分	181	—
純資産合計	17,521	15,468
負債純資産合計	30,609	27,453

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	15,597	15,006
売上原価	9,954	9,444
売上総利益	5,643	5,562
販売費及び一般管理費	7,074	6,323
営業損失(△)	△1,430	△760
営業外収益		
受取利息	18	11
受取配当金	33	44
不動産賃貸料	149	153
その他	105	85
営業外収益合計	307	295
営業外費用		
支払利息	2	2
不動産賃貸費用	87	76
為替差損	82	87
その他	12	20
営業外費用合計	184	186
経常損失(△)	△1,307	△651
特別損失		
固定資産除却損	—	78
特別退職金	47	1,309
特別損失合計	47	1,387
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,355	△2,039
法人税、住民税及び事業税	27	32
法人税等調整額	△17	12
法人税等合計	9	45
四半期純損失(△)	△1,365	△2,084
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△11	3
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,353	△2,088

(四半期連結包括利益計算書)

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純損失(△)	△1,365	△2,084
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	11	163
為替換算調整勘定	4	35
退職給付に係る調整額	27	9
その他の包括利益合計	44	208
四半期包括利益	△1,320	△1,876
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,309	△1,879
非支配株主に係る四半期包括利益	△11	3

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額(注2)
	情報通信	印刷システム	電子計測		
売上高					
外部顧客への売上高	11,126	2,499	1,971	—	15,597
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	11,126	2,499	1,971	—	15,597
セグメント利益又は損失(△)	△331	6	△128	△977	△1,430

(注) 1. セグメント損益の調整額△977百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△977百万円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

2. セグメント損益は、四半期連結損益計算書の営業損益と調整を行っています。

当第3四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額(注2)
	情報通信	印刷システム	電子計測		
売上高					
外部顧客への売上高	10,977	2,069	1,960	—	15,006
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	10,977	2,069	1,960	—	15,006
セグメント利益又は損失(△)	335	29	18	△1,143	△760

(注) 1. セグメント損益の調整額△1,143百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,143百万円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

2. セグメント損益は、四半期連結損益計算書の営業損益と調整を行っています。